

地域研究センター共同研究主催、

ヨーロッパ研究センター、外国語学部フランス学科共催

「19～20 世紀のヨーロッパにおける科学と文学の関係」

第3回シンポジウム

◆クリストフ・ガラベ（近畿大学非常勤講師）

Le voyage aérien, entre expérience scientifique

et mode d'exposition des savoirs (1850-1900)

◆鎌田隆行（信州大学准教授）

バルザックにおける「全集」と「知」

◆真野倫平（南山大学教授）

グランニギニョル劇と細菌学の諸問題



パネリスト

◆石橋正孝（立教大学兼任講師）

◆梅澤礼（日本学術振興会特別研究員 PD）

◆橋本一径（早稲田大学准教授）

◆橋本知子（京都大学非常勤講師）

◆松村博史（近畿大学准教授）

2013年3月29日（金） 14:00-17:30

南山大学名古屋キャンパス J棟1階特別合同研究室（Pルーム）

問い合わせ： 南山大学地域研究センター

PHONE：052-832-3111（代表） 〒466-8673 名古屋市昭和区山里町18番地